

シルバーとうきょう

NO.338

2020.7.15

CONTENTS

「今年度はこれがんばります!」

P2-3 1.安全就業の推進

2.就業機会の確保

- (1)シルバー人材センター等
労働者派遣事業
- (2)就業開拓推進モデルセンター
プロジェクト

1/25武蔵村山会場



「7月は安全就業強化月間です」

P4-5 令和元年度 事故概況

安全啓発チラシを作成しました

P6 自動車関連 新規事業

令和2年度 安全就業標語決定!

P8-9 福祉・家事援助サービス

都内センターの布マスクづくり

『これからシルバー
応援フェスタ』
大盛況でした

2/15豊島会場



2/12大田会場



2/12大田会場

P7に詳しく掲載されています

P10-11 令和元年度 都内シルバー人材センター 事業実績

P12 令和2年度 東京しごと財団 シルバー人材センター 事業計画

P13 適正就業のポイント

P14-15 連合インフォメーション



2/14足立会場

本年4月に緊急事態宣言が発令され、休業要請や不要不急の外出の自粛など、新型コロナウイルス感染症のまん延が社会経済に及ぼした影響には深刻なものがあります。

シルバー人材センター事業も、就業の見合わせや各種イベントの中止など大きな打撃を受け、過去に例の無い課題への対応に苦慮してきました。こうした中でも、各センターではマスクづくりや感染拡大防止の徹底など、取り組みを進めてきたところです。緊急事態宣言は解除され、第二波を警戒しながらも、日常が戻りつつあります。

会員の皆様が生き生きと活躍し続けられるよう様々な工夫を重ねつつ、シルバー人材センター事業を前進させていきます。

公益財団法人 東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)
理事長 小沼 博靖

公益財団法人 東京しごと財団 (東京都シルバー人材センター連合)



今年度はこれをごんばります！

1 安全就業の推進

安全就業は、シルバー人材センターの就業において重要な課題です。

各センターの安全就業の推進を一層強化していくため、東京都シルバー人材センター連合は下記のとおり「安全宣言」を設定しています。

令和2年度は経路途中の事故防止を重点項目に定め、各種の取組を実施していきます。

【安全宣言】

東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

- 1 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
- 1 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 1 事故の情報を分析し再発防止を徹底する

この安全宣言のもと、令和2年度の安全就業対策における重点項目を定めました。

- ① 「安全就業基準(作業別含む)」の遵守の徹底
- ② 経路途中の安全確保
- ③ 安全管理委員会の活動の活性化(傷害・賠償責任事故防止)

2 就業機会の確保

《1》シルバー人材センター等労働者派遣事業

シルバー人材センター等労働者派遣事業は令和元年度で事業実施4年が経ちました。

昨年度末現在、58シルバー人材センターのうち、53地区が派遣事業所として届出をしています。

そのうち、事業を実施している派遣事業所は46事業所となり、受注件数、契約金額、就業延人員全てにおいて、前年度に比べて実績が増えています。

■事業実績

	会員数 (人)	受注件数 (件)	契約金額 (千円)	就業延人員 (人日)
平成30年度	5,150	4,412	849,221	153,894
令和元年度	6,606	6,124	1,206,733	206,119
増減比	28.3%増	38.8%増	42.1%増	33.9%増

受注職種では、一般事務・総務事務・受付などの事務関連業務、保育や育児支援などの子育て支援サービス、倉庫や商品管理などの軽作業が多くなっています。

また、就業の適正化を図るため、公共事業を中心に請負から派遣への切り替えが進んでいます。

一方で、事業規模の拡大とともに労災事故も増えました。

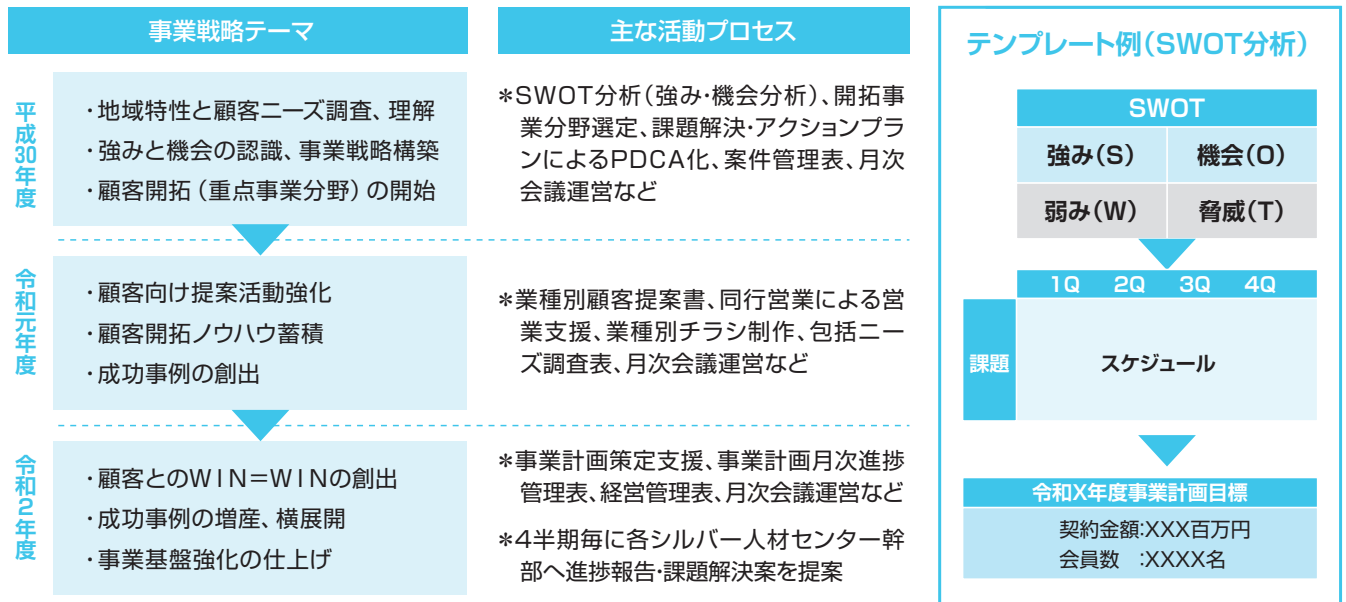
令和元年度は30件の労災事故がありましたが、前年度は20件でしたので、1.5倍に増えたこととなります。事故の内容で多いのは転倒事故で30件のうち19件を占めており、さらにそのうち7件は骨折にいたっています。

また、令和2年4月1日から、派遣労働者の同一労働同一賃金の実現に向けた改正労働者派遣法が施行されました。シルバー人材センター等労働者派遣事業においても例外なく適用されるものですので、派遣事業所を通じて派遣先より、比較対象労働者の待遇情報を提供いただいております。

派遣業務の受注が進み、就業される会員が増えていくことにより、契約事務等の負担が増えてきていますが、労働基準法や労働者派遣法等の関係法令を遵守し、連合と地区事業所とで協力しながら、事業の適正な運営に努めていきます。

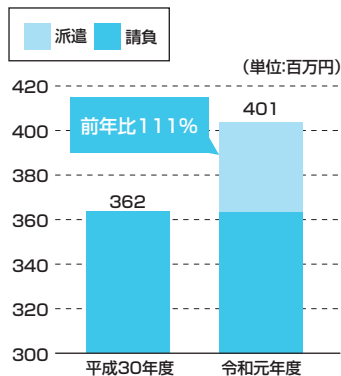
《2》就業開拓推進モデルセンター プロジェクト

- ・新規事業ならびに顧客開拓による地域貢献度向上を目指し、平成30年4月キックオフ
- ・事業戦略、マーケティング手法、目標管理を導入した事業構築、顧客開拓活動を展開



事業実績

文京区シルバー人材センター

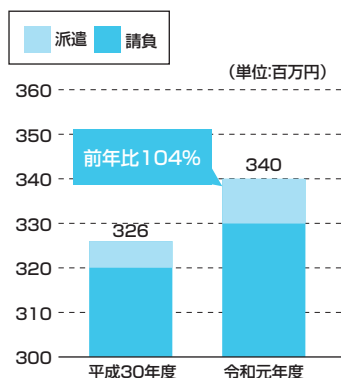


◆活動成果

- ①派遣事業をスタートし実績アップ
 - ・文京区の施策に呼応し、保育補助(5施設)、介護補助(5施設)の派遣事業を新規に開始
 - ・派遣事業の基盤構築に向けて、選挙関連業務、小学校受付業務などの事業拡大に挑戦
- ②地域特性である教育・研究機関向けにアンケート・モニター事業を強化し、提案



清瀬市シルバー人材センター



◆活動成果

- ①地域ニーズに基づき、保育補助(3施設)、介護補助(1施設)を開拓し、派遣事業を強化
- ②保育補助事業などの重点事業強化のため、女性会員数を増強
- ③市の重点事業である農業振興へ貢献すべく、農作業補助を6カ所の農業事業者へ展開、地元野菜のブランド化へも寄与



課題

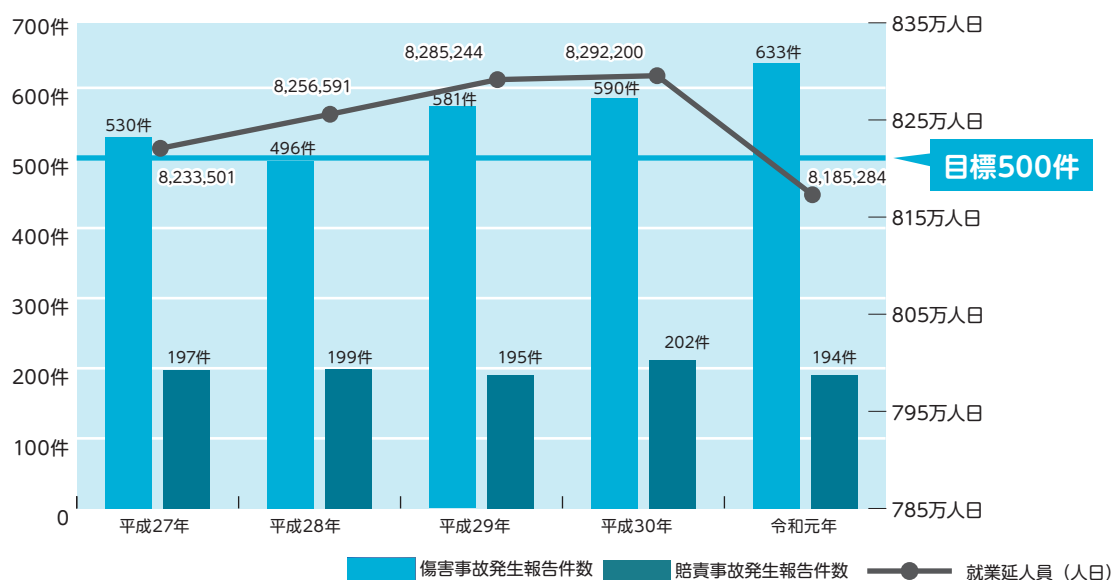
新型コロナウイルス発生により経営環境の著しい変化が予想されるため、令和2年度事業計画については、地域ニーズの変化を加味し、継続的な地域貢献に向けて修正計画を策定予定。

令和元年度 事故概況

令和元年度に発生したシルバー保険対象の傷害事故は633件発生し、昨年度より43件（7.3%）増加しました。また、死亡事故が4件発生しました。

賠償責任事故は194件発生し、昨年度より8件（4.0%）減少しました。

都内シルバー人材センターでの事故件数推移（過去5年間）



●傷害事故

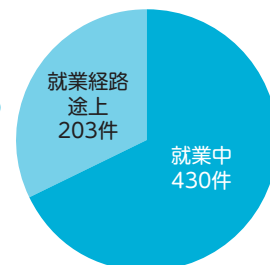
【就業中の事故】(430件)

就業中の傷害事故430件のうち、157件（36.5%）が転倒で、墜落・転落が62件（14.4%）と、事故の約半数はこの2種類の事故です。職群別にみると、屋内清掃作業67件（15.6%）、屋外清掃作業59件（13.8%）、植木・造園工事51件（11.9%）、広報関連サービス40件（9.3%）、建物管理32件（7.5%）の順で事故が多く発生しました。

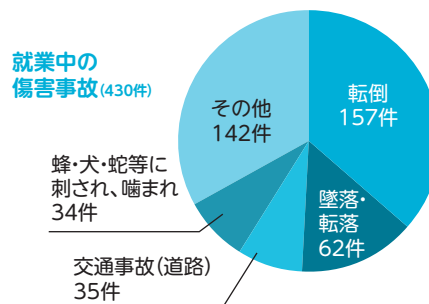
屋内清掃作業、屋外清掃作業ともに転倒が最も多く、階段の段差やごみ袋につまずいたり、ぬれた床や地面で滑る事故が目立ちました。

植木・造園工事では墜落・転落が最も多く、脚立から足を踏み外したり、ブロック塀に乗るなどしてバランスを崩したことによる事故が発生しています。

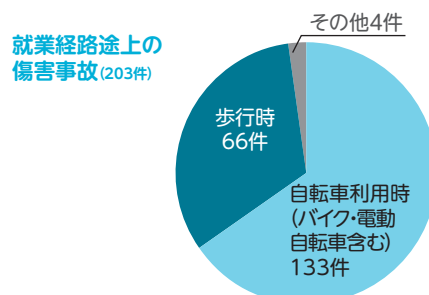
傷害事故 (633件)



就業中の傷害事故 (430件)



就業経路途上の傷害事故 (203件)



【就業経路途上の事故】(203件)

交通手段別にみると、自転車利用時が133件で、全体の65.5%を占めました。そのうち86件（64.7%）が転倒などの自損事故でした。また、歩行時は66件で全体の32.5%を占めており、そのうち、59件（89.4%）が転倒などの自損事故でした。

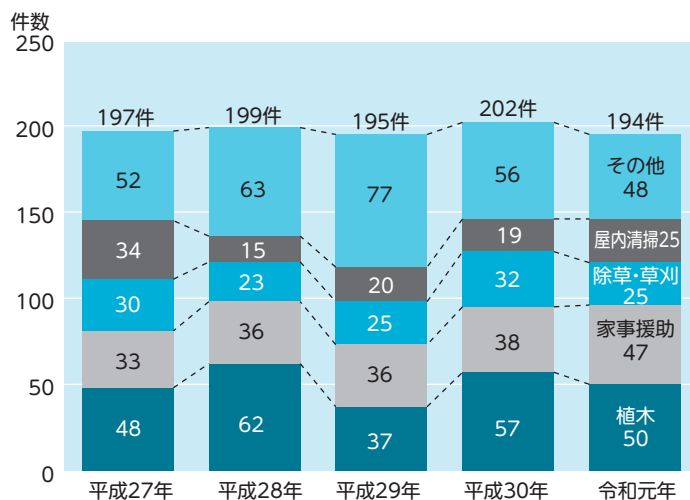
●賠償責任事故（194件）

令和元年度に発生した賠償責任事故を職群別にみると、植木・造園工事50件（25.8%）、家事援助サービス47件（24.2%）、除草作業25件（12.9%）、屋内清掃作業25件（12.9%）の順で事故が多く発生しました。

植木・造園工事では、脚立やはさみで車に傷をつけたりガラスを割ったり、また誤ってケーブルやホースを切断した事故などが発生しました。

家事援助サービスでは、清掃中に置物を落としたり、使用する道具を誤って家具に傷をつける事故などが発生しました。

賠償責任事故の推移



【賠償責任事故について】

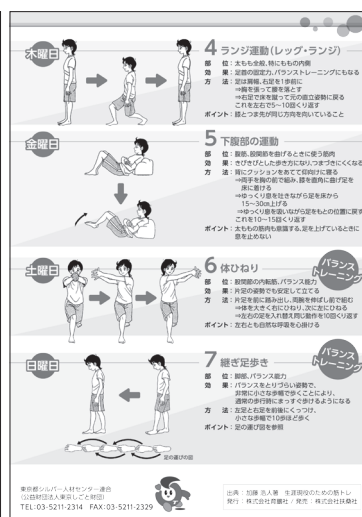
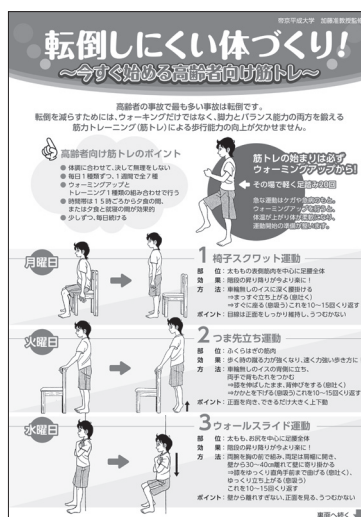
都民に怪我をさせたり、都民の財産を棄損しないように、事故撲滅に向けて真剣に取り組んでいきましょう。

安全啓発チラシを作成しました



自転車利用時の死亡事故の発生や転倒による傷害事故が多く起こったため、自転車の点検や交通ルール順守を促す啓発チラシ、高齢者向けの筋力トレーニングチラシを作成し、配付しました。

（出典：加藤浩人著「生涯現役のための筋トレ」）



自動車関連新規事業

昨今、ブレーキとアクセルの踏み間違いなどによる高齢者の自動車事故が発生し、高齢ドライバーに対する危険性の指摘が社会的に高まりを見せています。シルバー人材センターでも作業用具の運搬などで自動車を使用して就業する会員もいることから、連合では、令和2年度、次の2つの事業を実施していきます。



【自動車安全装置支援事業】

シルバー人材センターが保有する車を対象として、安全装置付き車への買換えや借換えを支援し、会員ドライバーによるシルバー人材センターの保有車で自動車の事故の防止対策を促進します。

【危険運転防止対策事業】

自動車運転を行う会員ドライバーに対し運転適性検査を実施することで、自らの運転特性を知り安全運転への意識啓発を促進します。



令和2年度 安全就業標語決定!

安全就業の啓発を目的として、都内各センターを通じて会員の安全就業標語作品を応募・推薦いただきました。

令和2年度は応募3,426作品、推薦315作品の中から、2作品を最優秀作品に選定し、ポスターを制作するとともに、東京都連合の統一標語として安全就業の推進に活用します。

テーマ1 就業中および経路途上の交通事故防止



最優秀賞
小平市
シルバー人材センター会員



ヘルメット
かぶって安心
身を守る

優秀賞

- 慣れた道 慣れた仕事で 油断する
千代田区シルバー人材センター会員
- 「手慣れたる」 気持ちの緩みが 起こす事故
墨田区シルバー人材センター会員
- 自転車も 車と同じ 交通ルール
小平市シルバー人材センター会員
- 事故防ぐ 注意 気配り 譲り合い
あきる野市シルバー人材センター会員

テーマ2 センターごとに設定したテーマ



最優秀賞
江東区
シルバー人材センター会員



事故ゼロへ
一人一人が
その主役

優秀賞

- 危ないよ! “うっかり” “ぼんやり” “まあいいか”
杉並区シルバー人材センター会員
- 疲れたら ちょっと休んで リフレッシュ
昭島市シルバー人材センター会員
- 始めよう 最初の仕事は 安全確認
町田市シルバー人材センター会員
- 仕事中 目くばり 気くばり 足くばり!
国分寺市シルバー人材センター会員

これからシルバー応援フェスタ 〓 会員募集中! 〓

シルバー人材センターの仕組みや魅力について、地域の高齢者等に知っていただくことを目的とした『これからシルバー応援フェスタ』を令和2年1～2月に都内7会場で実施しました。その一部をご紹介します!

1 ようこそ!シルバー人材センターへ

(シルバー人材センターのご案内)



2/2 文京会場(台東区SC)

2 著名人等による講演



1/25 武蔵村山会場(ゲスト・せんだみつおさん)

3 体力測定



体前屈～骨密度～片足立ち

測定結果

測定結果を出力してアドバイス

4 個別相談・出展ブースの様子



2/2 文京会場



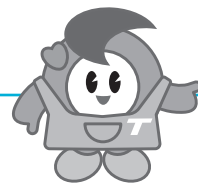
2/21 狛江会場



2/19
小金井会場(武蔵野市SC)

令和2年度も10月～順次開催予定です。
シルバー人材センターにご興味のある方は、お気軽にご参加ください!

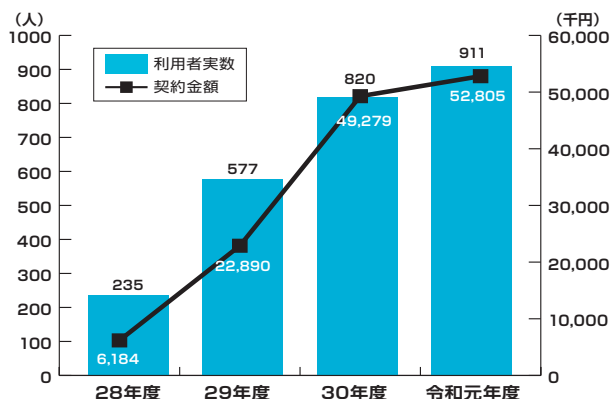
福祉・家事援助サービス事業



生活支援サービス引続き増加！

令和元年度の生活支援サービス(介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス)実績がまとまりました。現在30センターが参入しています。(このほか参入希望は6センターです。)

利用者件数は11%、契約金額で7%と、いずれも前年度より増加しました。会員増強とレベルアップが課題ですが、地域で介護予防・自立支援にかかわり活躍する元気シニアの存在が光ります。



都内センターの「布」「マ」「ス」「ク」づくり

新型コロナウイルス感染拡大の影響でマスク不足が続いた時期、都内の多くのセンターで布マスクを手づくりしました。その活動の一部をご紹介します。

港区SC

マスク不足の時期に小物グループ「あじさい」の会員が布マスクを手作りし、会員に販売しました。区役所の売店での販売も大変好評でした。

新宿区SC

会員が社会貢献の一環として布マスクを制作し、800枚を区に寄贈しました。

大田区SC

区からの要請を受け、会員手作りのマスクを製作しました。

渋谷区SC

会員が社会貢献活動の一環として、自主的に手作り布マスクを製作し、区に寄付しました。

江戸川区SC

有志の会員による手作りマスクを、会員へ就業用に配布。また、社協等とのコラボ「江戸川区マスク手作り隊」に参加し、売上は区内の医療従事者への応援金として寄付しました。

府中市SC

約5名の小物手作り班会員が、自発的にマスクを製作し、会員や一般市民向けに販売しました。

小金井市SC

手工芸班製作の布マスクを常時販売していることを、ホームページで紹介。また一般向けの販売について市のホームページで広報しました。

東村山市SC

2月上旬から、女性委員会の小物班による手作りマスクを会員限定で販売を開始。沢山の会員が安心して就業を続けています。福祉施設・医療機関からの依頼にも応えています。

国分寺市SC

材料(生地や紐)の持ち込みで、マスク製作を受託する他、会員や一般市民向けに、会員による手作りマスクの販売をしていることもホームページで紹介しました。

狛江市SC

マスク製作班が布マスク3000枚以上を製作し、高齢者施設や発注者、就業中の会員にマスクを無償で提供しました。また市役所での展示やHPを通し、一般の方向けの販売や全国に向けてPRも行いました。

武蔵村山市SC

マスク入手困難になった2月、手芸サークルしるばっ娘が手作りマスクの製作をスタート!学童クラブに寄贈、会員・市民向けには販売(売上一部は社協に寄付)しています。

西東京市SC

女性会員がガーゼや手拭いの生地などでマスクを手作りして販売しています。マスク不足が続く中、市民の方に好評を得ています。



新型 コロナウイルス禍で、 厳しいスタート

東京しごと財団では3月開催予定の生活支援サービス研修(第6回)を中止とさせていただきます。各センターでも会議・研修等が相次いで中止となり、家事援助の就業にあたり、注意を徹底しながら、4月のスタートとなりました。しかし、緊急事態宣言を受け、個人家庭での就業そのものが難しいというピンチに陥りました。

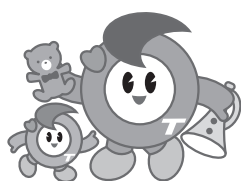
実際に4月・5月福祉・家事援助サービスについては、室内で利用者との密な接触を伴うため、多くのセンターがまず新規受注を中止しました。そして、安全確保のため、就業会員や利用者に対し、一時就業停止の通知を出して、会員(その家族)及び利用者の不安を取り除くことで、安心してもらったセンターも多くありました。

この通知で初めて事の深刻さに気づいた会員もいたそうです。

しかし、利用者や会員双方のニーズがある場合は、継続就業を続けざるをえない場合もあります。

例えば、生活支援サービスを約30件担当している武蔵村山市センターでは、会員・利用者が①就業日の検温②利用者宅での手洗い③利用者にもマスク着用④体調変化の際は連絡し就業しない⑤利用者宅の換気⑥部屋にできるだけ同室しない等を厳守することで、困難を乗り切っています。

今回の新型コロナ禍では、センターでのリスク管理のあり方が重大な課題としてつけつけられました。



そんな中でも、 積極的な展開を目指して！

～今年度各センターの事業計画から福祉・家事援助サービス事業の充実強化策をまとめました～

各センター共に、女性会員の増強・研修の強化・生活支援サービス受注増・ちょこっとサービス(ご近所隊・お助け隊など)の推進などが共通してあげられています。また、ニーズが減少している数センターでは、就業開拓の強化が取り上げられています。事業計画の中から、センターの具体的な取組をご紹介します。

センター名	具体的な取組
新宿区	幅広い仕事があることをイベント等で丁寧に説明 職員コーディネーターが新入会員研修終了後に就業相談会開催
品川区	地域コンビニサービス事業の会員増強と柔軟な対応 女性会員を増強し増加する家事手伝い・児童送迎見守り・保育補助ニーズに安定的に対応
大田区	絆サポート・ちょこっとサービス担い手の高齢会員登録拡大 家事援助サービスの事業説明会、就業会員向け「かこサロ」(家事援助・子育て支援のサロン)の実施
中野区	「顔の見えるつながり」として地域を結びつけるなど、地域団体とも連携をとりながら、支えあいによる「地域力」をアップ
北区	スマイルサポートの拡充(重点事業)
練馬区	会員コーディネーターの各地域配置の実現
府中市	女性活動検討会による会員増の取組
町田市	小規模受注へ対応するため地域特別チームの編成と活用 様々なりスク(認知症など)を想定したリスク管理
日野市	家庭向け総合サービスへの取組強化(受注窓口の一本化) 事業部会・女性委員会でのPR強化や交流会開催
東大和市	生活支援サービスの拡大・女性会員の就業機会確保 (高齢者自身の持つ能力を最大限に活かしつつ地域社会全体で支援する取組)
羽村市	女性部会での介護予防体操の拡充 就業開拓委員会で、個人家庭のニーズ把握・支援の必要な高齢者世帯の把握(新規事業)
西東京市	介護予防・生活支援事業の取組
三宅村	ファミリーサポートセンター事業の推進

各センターでの取組、共通課題などについて、今年度も担当者交流会(年2回)で情報交換と課題解決に向けての協議をいたします。担当職員の皆さまのご出席をお待ちしています。

都内シルバー人材センター 事業実績

令和元年度の都内シルバー人材センター事業実績がまとまりました。平成30年度と比較して就業延人員、受託件数は減少しましたが、会員数、契約金額は増加しています。

地域により人口構成等、背景となる状況が異なりますので単純な比較はできませんが、現在の各センターの特徴を把握するのに役立ててください。

シルバー人材センター事業実績の推移 (平成27年度～令和元年度) ※下段のカッコ内数値は対前年度増減比

年度	会員数 (人)	就業 実人員 (人)	就業率 (%)	受託件数 (件)	就業延人員 (人日)	契 約 金 額 (千円)				公民比
						配分金/賃金	材料費・その他	事務費/手数料	合 計	
令和元	81,800 (0.2)	67,006 (1.9)	81.9	473,474 (-1.2)	8,185,284 (-1.3)	30,782,130 (0.9)	1,115,943 (3.0)	3,031,282 (4.5)	34,929,355 (1.2)	50.0/50.0
H30	81,632 (-0.1)	65,734 (0.1)	80.5	479,304 (0.3)	8,292,200 (0.0)	30,518,507 (1.4)	1,083,606 (-3.6)	2,899,781 (3.8)	34,501,895 (1.4)	49.4/50.6
H29	81,696 (-0.3)	65,624 (0.0)	80.3	477,802 (0.6)	8,285,244 (0.3)	30,096,915 (0.9)	1,123,117 (-2.2)	2,793,591 (4.9)	34,013,623 (1.1)	49.8/50.2
H28	81,951 (0.5)	65,594 (2.0)	80.0	474,884 (1.0)	8,256,591 (0.3)	29,843,063 (0.7)	1,147,808 (1.9)	2,663,617 (2.5)	33,654,488 (0.9)	50.3/49.7
H27	81,578 (-1.1)	64,335 (-1.1)	78.9	470,140 (1.4)	8,233,501 (1.4)	29,629,739 (1.2)	1,126,799 (1.0)	2,598,031 (0.9)	33,354,570 (1.2)	49.1/50.9

●会員数

図1 会員数・就業率の推移 (平成27年度～令和元年度)

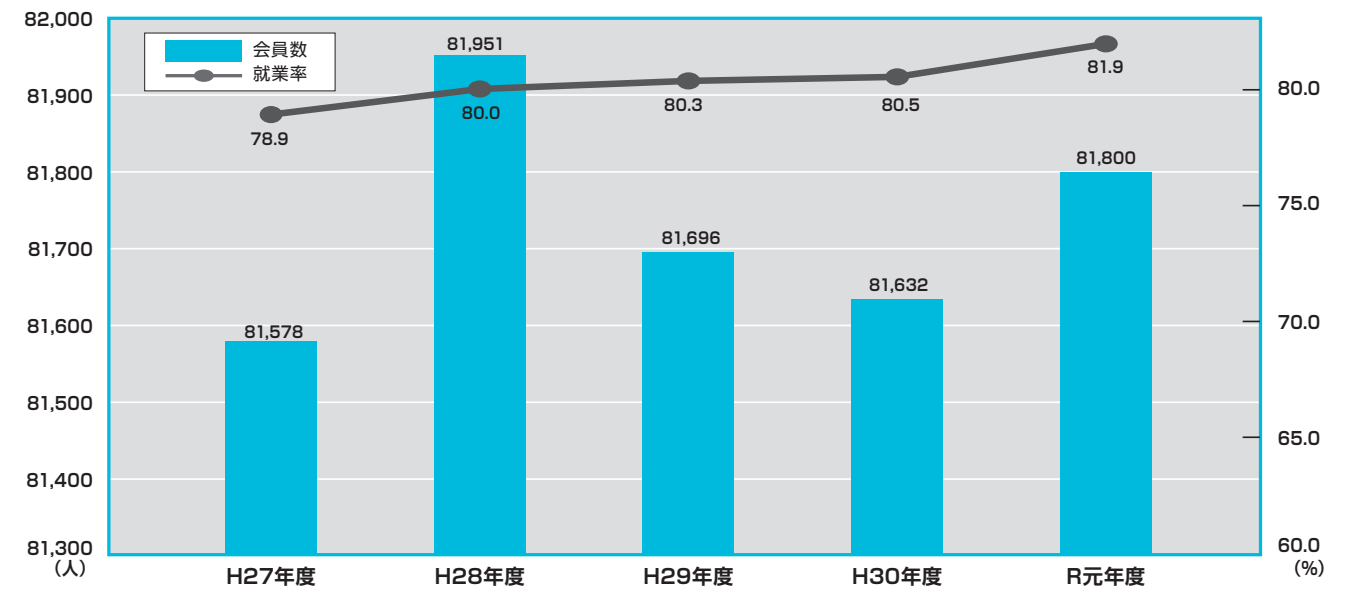


表1 会員数の伸び率(上位10センター)

No.	センター名	R1年度末 会員数(人)	対前年比 (伸び率)
1	多摩市	1,001	7.6%
2	豊島区	1,601	6.4%
3	文京区	1,128	6.0%
4	世田谷区	3,121	5.2%
5	八王子市	2,618	4.2%
6	八丈町	275	3.8%
7	府中市	1,886	3.2%
8	千代田区	361	3.1%
9	狛江市	646	2.7%
10	武蔵村山市	1,119	2.5%

令和元年度末における会員数は81,800人で、昨年度末と比べて168人増加(0.2%増)となりました。

伸び率が高かったセンターは、表1のとおり、多摩市、豊島区、文京区、世田谷区、八王子市等のセンターです。

昨年度の会員数を維持・増加したセンターは26センター、昨年度の会員数を下回ったセンターは32センターでした。

多摩市シルバー人材センター 安宅常務理事兼事務局長

多摩市SCは会員数を“基礎体力”と捉え、理事長(常勤)を筆頭に独自の入会説明会や退会希望者への丁寧な面談等を重ねた結果、念願の千人台となりました。創立40周年を迎えた今年度、コロナ禍で会員の安全・安心を図るため、全会員にマスクを配布しました。

●契約金額

図2 受託件数・契約金額の推移(平成27年度～令和元年度)

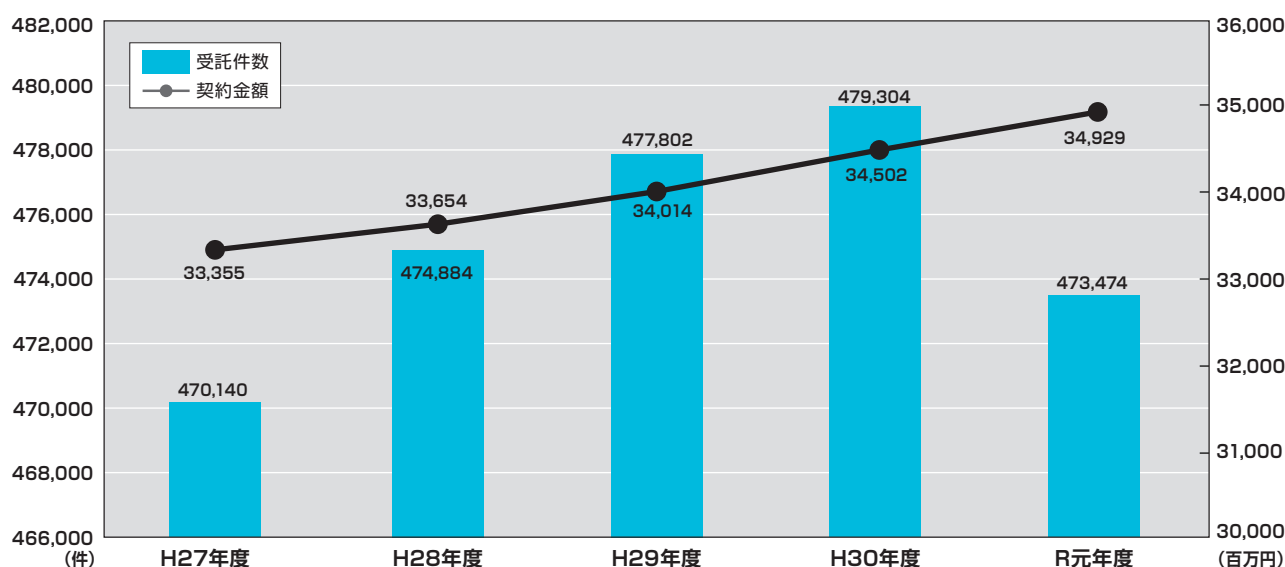


表2 契約金額の伸び率(上位10センター)

No.	センター名	R1年度末 契約金額(千円)	対前年比 (伸び率)
1	三宅村	69,692	13.8%
2	東大和市	312,641	12.6%
3	文京区	401,310	10.7%
4	千代田区	197,076	6.5%
5	八王子市	976,280	5.8%
5	中野区	720,448	5.8%
7	稲城市	299,539	5.4%
8	清瀬市	339,751	4.3%
9	小平市	475,266	4.1%
10	北区	1,174,875	4.0%

令和元年度の契約金額は34,929,355千円で、昨年度より427,460千円増加(1.2%増)しました。その中で最も実績を伸ばしているのは、表2のとおり、三宅村、東大和市、文京区、千代田区、八王子市、中野区等のセンターでした。なお、労働者派遣事業所分の合計契約金額は1,206,733千円でした。

公民比率は50.0対50.0であり、昨年度(49.4対50.6)と比べて公共の比率が上がり、民間の比率が下がりました。

三宅村シルバー人材センター 吹田事務局長

令和元年度は、就業開拓の強化に取り組みました。大きく次の2点あげられます。

「①派遣事業の新規参入・実施 ②年間契約による新規受注増」
これらが成果として示されたと考えております。

令和2年度

東京しごと財団 シルバー人材センター事業計画

令和2年度は、下記5点について重点的に取り組みます。会員の皆様に働くことを通じて自身の生きがいを発見し、活力ある地域社会づくりに貢献していただけるよう、シルバー人材センター事業を進めてまいります。

シルバー人材センターを取り巻く状況

- 令和元年度の会員数は昨年度を上回ったものの、減少傾向が続いており、今後とも会員確保のためのなお一層の効果的な対策に取り組む必要があります。
- 令和元年度の会員の事故件数は、目標としている500件以下を大幅に上回ったため、安全就業について継続的に取り組む必要があります。

令和2年度の重点的な5つの取組

取組1 安全就業の推進

- センターにおける自律的な安全就業推進体制を整備。
- 自転車利用時の安全対策、転倒防止対策を推進。また、刈払機による飛び石防止講習を実施。

取組2 就業機会の確保

- 広域的に展開できる就業について、複数センターに渡る仕事の受注手続きの円滑化、シルバー間の相互協力体制の活発化を図り、就業機会を確保・拡大。また、引き続き就業開拓推進モデルセンターにおいて、就業開拓を連合と協働で行う事業を実施。
- 福祉・家事援助サービス推進員を連合本部に配置し、会員コーディネーター及び会員の育成のための研修や交流会を実施。

取組3 会員拡大の推進

- シルバー人材センター事業について、幅広い広報活動を展開。
- シルバー人材センターの活動について、HP等を活用した情報の発信を実施。
- シルバー人材センターでの働き方を理解してもらうため、就業体験講習を実施。
- シルバー人材センターのイメージアップと会員拡大を図るため、「これからシルバー応援FESTA」を開催。
- 新規会員やシルバー人材センターを活用する企業の増加を図るため、周知・広報や職場での就業体験、技能講習を行う「高齢者活躍人材確保育成事業」を実施。

取組4 適正就業の推進

- 契約書類の適正化、就業実態の把握、文書による指導等の巡回指導により適正就業を推進。

取組5 事業運営に関する援助及び育成等

- 適正に事業運営が図れるよう、専門家を活用した巡回指導、相談を実施。
- 事務局職員の能力向上を目的に研修を実施。

役職員研修実施予定（8月～10月分）

研修名	開催日	対象	研修名	開催日	対象
新任事務局長研修	8月7日(金)	新任事務局長	昇任選考研修	9月17日(木)、18日(金)、23日(水)、25日(金)	昇任対象者
課題改善研修（前期集合）	8月25日(火)、26日(水)	主事・主任管理・監督者	リーダーシップ研修	10月2日(金)	次長
新任職員研修	8月31日(月)	新任職員	悉皆研修	10月27日(火)、11月26日(木)	全職員
実務研修	9月4日(金)	全職員	公益法人会計の基礎	10月28日(水)、29日(木)	全職員

※都合により開催日が変更になる場合があります。

適正就業のポイント



就業現場について



就業現場を巡回する際、契約更新の際などに、適正な状況が継続されているか確認をお願いします。

- 契約書や関係書類は整っていますか
- 臨・短・軽の範囲を超える就業が、恒常的に発生していませんか
- 発注者との混在就業はありませんか
- 発注者が「次は○月○日に来て」「今日はこれをやって」など、直接会員に指示していませんか
- 契約書に書いていない仕事内容が、いつの間にか追加されていませんか
- 会員の仕事量が、発注者側の人員のペースにより左右され、会員のその日の就業の時間、仕事量が会員で決められない状況になっていませんか
- 現金の取扱いがある現場では、適切な取扱いがされていますか



適正就業のポイントをくわしく知ろう



適性就業のポイントは以下のような資料で確認することができます。

- ▶ 「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」厚生労働省 全国シルバー人材センター事業協会 全シ協HP(http://www.zsjc.or.jp/img/index/guideline_1.pdf)
- ▶ 「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準を定める告示」厚生労働省 厚生労働省HP (<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/0000046903.pdf>)
- ▶ 「労働者派遣・請負を適正に行うためのガイド」厚生労働省・都道府県労働局 厚生労働省HP (<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/0000078287.pdf>)

メンタルヘルス カウンセリングの ご案内

センター職員が職場の問題やメンタルヘルスに関することで、気軽に利用できる相談です。ご自身の相談だけでなく、センター管理者の立場として、何らかの悩みを抱える職員への対応をどのように進めるのがよいかといった視点からの相談も受け付けます。お気軽にご利用ください。

カウンセラーには守秘義務があります。
相談者名及び相談内容などは、全て守られます。

対 象

正規職員（期間を定めて雇用される職員及び無期雇用転換職員は除く）
※職場の管理者の立場からの相談も可能です

利用方法等

臨床心理士との面接と電話により相談を行います。
連絡先等の詳細は、4月に各センターへ配信したチラシをご覧ください。



①面接カウンセリング

- ・予約制
- ・1回50分程度
- ・1年度中1人5回まで無料。
6回目からは有料（自己負担）
- ・予約窓口は月～土曜日（日曜・祝日、年末年始は休み）
の10時～20時
- ・面接時間・面接場所等の詳細情報は予約時に説明されます

②電話カウンセリング

- ・1回20分程度
- ・1日1回まで。回数制限は無く、毎日の利用も可能
- ・月～土曜（日曜・祝日、年末年始は休み）の10時～22時
- ・無料のフリーダイヤルで、携帯・PHSからの利用も可能



自転車損害賠償保険加入が義務づけられました



東京都では「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が改正（令和2年4月1日施行）され、自転車利用者は、自転車利用によって生じる他人の身体又は財物の損害を賠償する自転車損害賠償保険・共済等への加入が義務づけられました。

「個人賠償責任保険」が付帯されている以下のいずれかの保険・共済に加入していることが必要です。

- | | |
|------------------------------------|---|
| ①「自転車保険」等の名称で販売している
傷害保険とのセット商品 | ⑤クレジットカードなどの付帯保険 |
| ②自動車保険（特約） | ⑥会社等の団体保険 |
| ③火災保険（特約） | ⑦PTAの保険など学校・大学で加入募集を受ける保険 |
| ④傷害保険（特約） | ⑧交通安全協会の自転車会員の加入保険
（自転車事故による損害賠償のみを補償） |

また、点検確認済みの自転車であることを示すTSマークにも同様の保険が付帯しています（マークの日付が1年以内のものに限る）。

詳細は保険契約内容をご確認ください。

なお、業務で自転車を利用中に起こした事故は、個人賠償責任保険では補償されません。事業者が事業用の賠償責任保険に加入する必要があります。

東京しごと財団では、サイクル安心保険をご案内しています。

お問い合わせ シルバー保険事業室 TEL: 03-5211-2319

東京しごと財団では、シルバー人材センターで就業を希望する会員の方を対象とした講習を実施しています。

就業支援講習（基礎的な知識・技能の習得）

No.	コース名	定員	日数	日 程	会場
1	ステップアップ接遇(クレーム対応)(第1回) クレーム発生の原理と就業中のクレーム事例を学ぶ	20	1	令和2年9月18日(金)	東京しごとセンター
2	植木の剪定(初級)(多摩) 植木剪定の基礎、下草の刈り取りや清掃、刈枝処理方法、道具の管理などを身に付け、安全な剪定の仕方を学ぶ	25	18	令和2年9月14日(月)～10月20日(火)	東京しごとセンター 東京学芸大学
3	子育て支援総合サービス 子どもの心身の発達を理解し、成長に応じた遊びやかかわり方、子育て支援者としての心得、保護者とのコミュニケーションの取り方を学ぶ	30	3	令和2年10月19日(月)・20日(火)・22日(木)	東京しごとセンター
4	福祉・家事援助サービス(ハウスクリーニングⅡ)(第2回) 家庭内の水回りを中心とした清掃方法や様々な洗剤や用具に関する基礎知識を学ぶ	25	2	令和2年10月27日(火)・28日(水)	東京しごとセンター
5	福祉・家事援助サービス(ハウスクリーニングⅠ) 整理収納等についての理論を学び、効率よく部屋を美しく見せるコツを学ぶ	25	1	令和2年11月11日(水)	東京しごとセンター
6	福祉・家事援助サービス(ハウスクリーニングⅢ)(第2回) 窓ガラスや床を中心とした清掃方法や様々な洗剤や用具に関する基礎知識を学ぶ	25	2	令和2年11月26日(木)・27日(金)	東京しごとセンター
7	ステップアップ接遇Ⅱ(家庭の仕事等・発注者対応)(多摩) 家庭からの発注において発注者(及びその家族)に接する際に必要な基本的な対応方法を学ぶ	20	1	令和2年12月10日(木)	国分寺労政会館
8	毛筆筆耕(賞状書き) 限られたスペースにバランスよく割り付ける方法や、賞状書きの知識と技能を学ぶ	15	12	令和2年12月1日(火)～21日(月)	東京しごとセンター
9	パソコン出張サービス ネットワークの基本やファイル共有に関する知識と技術等を学ぶ	20	3	令和3年1月18日(月)～20日(水)	東京しごとセンター
10	包丁研ぎ(第2回) 洋包丁の研ぎ方を実習し、砥石の種類や面直しについても学ぶ	20	1	令和3年2月5日(金)	東京しごとセンター
11	ステップアップ接遇(クレーム対応)(第2回)(多摩) クレーム発生の原理と就業中のクレーム事例を学ぶ	20	1	令和3年3月9日(火)	国分寺労政会館

※令和2年度は、24講習の実施を予定していますが、8月以降に募集が行われる講習のみを掲載しています。

職域拡大技能講習（レベルアップ）

No.	コース名	定員	日数	日 程	会場
1	刈払機作業従事者安全衛生教育講習(多摩) 刈払機使用の際の振動障害防止と安全な取り扱いに関する知識と技能を学ぶ	25	1	令和2年9月10日(木)	(多摩地域)
2	福祉・家事援助サービスコーディネーター 家事援助の仕事で、発注者と会員の調整役として必要な知識と技能を学ぶ	20	2	令和3年2月15日(月)・16日(火)	東京しごとセンター
3	襖の張替え 「襖の張替え」の基本的な事柄を再認識し、技術向上を図ると同時に安全で効率よく襖を張替えることができるプロのコツを実技で学ぶ	15	3	令和3年3月16日(火)・17日(水)・18日(木)	東京しごとセンター

※令和2年度は、5講習の実施を予定していますが、8月以降に募集が行われる講習のみを掲載しています。

福祉・家事援助サービス事業研修

No.	研修名	定員	日数	日 程	会場
1	生活支援サービス研修②	12	5	令和2年7月20日(月)～30日(木)	国分寺労政会館
2	家事援助サービス基本研修①	25	2	令和2年7月21日(火)・28日(火)	東京しごとセンター
3	生活支援サービス研修(調理)①	10	1	令和2年8月25日(火)	東京しごとセンター
4	生活支援サービス研修③	25	5	令和2年9月8日(火)～25日(金)	三多摩労働会館
5	生活支援サービス研修④	25	5	令和2年11月9日(月)～19日(木)	東京しごとセンター
6	生活支援サービス研修(調理)②	15	1	令和2年11月20日(金)	東京しごとセンター
7	家事援助サービス基本研修②	25	2	令和2年12月16日(水)・18日(金)	国分寺労政会館
8	生活支援サービス研修⑤	25	5	令和3年1月18日(月)～27日(水)	国分寺労政会館
9	生活支援サービス研修⑥	25	5	令和3年3月10日(水)～18日(木)	国分寺労政会館

※各研修の詳細は受講者推薦募集時の日程表でご確認ください。

★受講のお申し込み 所属のシルバー人材センター事務局経由でのお申し込みとなります。

※各講習の募集は、原則として、講習開始月の2ヶ月前に行っております。

※新型コロナウイルス等の影響により、中止・延期・定員数変更となる場合があります。 ※日程や会場等が変更になる場合がございます。

★お問い合わせ

【就業支援講習・職域拡大技能講習】シルバー人材センター課シルバー講習担当係 TEL:03-5211-2326
【福祉・家事援助サービス事業研修】シルバー人材センター課シルバー事業係 TEL:03-5211-2314

おしゃれで、安全な自転車ライフを楽しむために

ご好評いただいております自転車用ヘルメット「カポル」は夏に最適なUVカット素材を使用した爽やかな色合いのデザインもございます。

S・M・L(S:52-55cm、M:56-59cm、L:59-62cm)の3サイズをご用意していますので、ぜひホームページからもご覧ください。

<http://www.nippare.com/capor/>

■問合せ先

株式会社日本パレード

フリーダイヤル



0120-71-8010



UVカット



エイジレス80

シルバー人材センターのための
総合情報処理システム

NRIは、中央省庁、地方自治体および企業の皆さまのニーズに応じて、公共政策、公共経営に関する調査コンサルティング活動を行っています。

近刊の「パブリックマネジメントレビュー」(月刊)レポートタイトル

- ・今こそ家庭在庫の浸透に再挑戦すべき
- ・新型肺炎を逆手に取ったデジタルトランスフォーメーションの実現
- ・デジタル化による産業構造の変化と展示会のモデルチェンジ

※NRIパブリックマネジメントレビューは、2020年3月号で記念すべき200号を迎えました。

「パブリックマネジメントレビュー」は、広く皆さまへ公開し、日頃の政策立案、事業展開にお役立ていただくためのニュースです。レポートは、野村総合研究所(NRI)のホームページよりご覧いただけます。

<http://www.nri-social.co.jp/>

「エイジレス80」は東京しごと財団と野村総合研究所の登録商標です

(お問い合わせ先)

NRI 社会情報システム株式会社

〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25 タワーS棟
TEL 03-6660-9766 FAX 03-6660-9767



シルバー人材センター様のお悩みを解決します！

● 基幹（業務・会計・給与）システム

センターの実情に合わせた会員・発注者管理と、事業運営・内部統制に不可欠な基幹システムをご提供します。

● 事務効率アップ

迅速な会員・発注者対応を行うためのCTI(電話機連動)や手書き就業報告書読取などのサービスをご提供します。

● セキュリティ対策

強固なセキュリティを実現するためのインフラ整備をご提供します。

株式会社 WorkVision 公共ソリューション事業部
(旧社名：東芝ソリューション販売株式会社)

東京都品川区東品川 2-2-4 (天王洲ファーストタワー)
TEL 03-4233-0990 <https://workvision.net>



公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8F

TEL 03-5211-2312 FAX 03-5211-2329

URL <https://www.tokyosilver.jp/>

シルバーとうきょうは、東京都シルバー人材センター連合のホームページからもご覧いただけます。



古紙パルプ配合率90%再生紙を使用